

ITA国際会議に参加して

NEXCO 総研 東 晋一郎

今回 飛騨トンネルの換気方式である選択排気縦流換気方式をはじめとし、シミュレーションをベースとした換気制御システム、火災時の煙のコントロールについて発表し、意見の交換を行いました。

最終日の食堂の隅っこでのポスターセッションという厳しい状況でしたが、数名の技術者と意見交換ができました。相手は流体の専門技術者から同じような国の高速道路建設に携わる人まで幅広く、排煙時の煙の排気シミュレーション方法や、何故この換気方式を採用したのか等々意見交換しました。残念だったのは欧州のトンネル建設のコンサルティングに携わっている方と最後に少し話げできたのですが、非常時の運用について満足いく意見交換をする時間が取れなかったことです。

また、今後 ITA に参加する場合は、開催地により提出する論文の分野を考慮する必要があると感じました。特に今回の ITA では、建設に関する報告は多くなされていましたが、欧州で大きく話題となっているリスクマネジメントやメンテナンスに関する報告は多くなく情報収集といった目的では、非常に消化不良でした。

以上